

熊 本 子 と も 囲 碁 便 り

No. 2 3 2013. 11. 20

発行：NPO法人

熊本子ども囲碁普及会

託麻囲碁クラブ内 096-382-0174



8 0 人 に 迫 る ！

第 8 回 熊 本 子 ど も 囲 碁 交 流 大 会

10月20日（日）東部交流センターにおいて第8回熊本子ども囲碁交流大会を開催しました。今回は城南教室、さくら通り蓮台寺教室が新しく参加。全体で82名の申し込みがありました。（3名欠席）

会場は対局するスペースでいっぱいになり、前回まで実施してきたパパママ交流大会は見合わせるようになりました。予想を超える盛況ぶりに主催者としては嬉しい限りです。対局は4局、対戦表組み合わせでは県庁囲碁クラブから応援をいただき予定通り無事終了することができました。

大勢の子ども達が集ったにもかかわらず、騒いだり走り回ったりすることもなく静かに対局を終えることができました。試合は悲喜こもごもで勝って喜んだり、負けて涙ぐんだりする子どももいて、これもまた良い経験をしたのではないかと感じました。

全勝者は次の通り（敬称略）

- ✿ 佐々木仁 三段（東町小6） ✿ 水谷勇斗 初段（西原小5） ✿ 池内光希 4級（東町小3）
- ✿ 上野翔太郎 9級（益城中1） ✿ 遠藤倫大朗 10級（西原小2） ✿ 山田理 13級（南ヶ丘小3）
- ✿ 井上然心 16級（長嶺小1） ✿ 志水聡太 18級（西原小2） ✿ 井上芽朗 20級（幼稚園）
- ✿ 田中優輝 20級（山ノ内小2） ✿ 吉行隼 20級（画図小1年）

13 路 盤 の 部

- ✿ 佐藤堪太 20級（幼稚園） ✿ 金城優衣 20級（東町小 1年）



真剣に対局中の子どもたちで会場は熱気むんむん！

第28回全九州高校囲碁選手権大会

熊本県勢大活躍 11月9、10日熊本市内のホテルを会場に開催されました。(主催：九州高校文化

連盟・県高校文化連盟) 九州各県(佐賀を除く)持ち回りで開催されているもので今年は熊本が開催地でした。開催地にふさわしく熊本勢の活躍が光りました。参加は各県から3人一組の団体戦24組、個人戦に38名が出場し、二日間で5局の対戦。全国大会は来年3月に大阪で開催されますが、3年生は出場できないため、熊本からは橋本君が出場します。

なお、当NPO法人より両日述べ8名の審判員を派遣しました。



真和高女子A団体対局の様子・・・

入賞者は次の通り(敬称略)

《男子個人》

優勝 橋本淳平(熊本高1年)

《女子個人》

優勝 西山奈々(真和高3年)

5位 矢根凜々花(第二高2年)

6位 池田めい子(文徳高1年)

《女子団体》

優勝 真和高A

(田中美沙・田上菜子・田上日奈子)

“全九州高校囲碁大会に審判として参加”

元田 美智子(旧姓 中村)

NPO法人から依頼を受けて、全九州高校囲碁選手権熊本大会の審判に参加して来ました。これまで、NPO法人熊本子ども囲碁普及会のメンバーに名を連ねながら、子どもが小さいこともありなかなかお手伝いが出来ず心苦しく思っていたので、今回は子どもを主人に預けての参加です。

九州各県から集まった高校生で会場は熱気があふれており、自分の学生の頃を(だいぶ以前の話ですが)、懐かしく思い出しました。私自身、対局も良い経験でしたが、年に一度集まる全国の友達と話したり遊んだりできたことが良い思い出として残っています。この大会も2日間の開催で、初日の晩は懇親会があったそうで、選手の皆さんは、さぞ修学旅行の夜のような楽しい時間を過ごしたのだらうと思います。

さて、審判自体は、私は初めての経験でした。主に女子団体戦を中心に見ていましたが、初級者同士の対戦が多く、あと数手で終局というところで、おもむろに死に石を動き出したり、手の無いところに打ちこんでいったりするケースが多々見られ、どのタイミングで声をかけて良いのかが悩ましかったです。ほとんどの場合、終局が良く分からないことが原因とは思いますが、一応大会ということもあって少し様子を見ていたら意外と手になってしまったり・・・。もう少し、私自身も経験を積むとそのタイミングもつかめるのかもしれないね。

日頃から、子ども囲碁の普及に御尽力されている先生方には、心から敬意を表します。私も、なるべくこれからも御協力していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

※元田さんは熊本大学時代大活躍した県を代表する女流棋士です。

2013 年度 学生十傑戦 九州地区予選

10月20日福岡にて学生十傑戦九州地区予選会が開催され、全国大会出場（3枠）を目指して21名（高校生4名）が熱戦をくりひろげました。

熊本から橋本淳平君（熊本高1年）が本戦出場枠を手に入れました。田中一成君（真和高3年）は決勝トーナメント進出しましたが、惜しくも代表権を逃しました。

残り2枠は、大村信明さん（九州大学）、甲原和也さん（大分大学）です。



第50回しんぶん赤旗囲碁将棋名人大会・・・ベスト16入り

11月9日に開催された第50回しんぶん赤旗囲碁将棋名人全国大会（東京）で田中一成君がベスト16入りを果たしました。全国から強豪が集まる大会で「確かな手ごたえを感じた」とコメントしてくれました。

なお、田中君は日程が重なったために全九州囲碁選手権には参加していません。

「画図保育園で囲碁授業」

NPO法人熊本子ども囲碁普及会 理事長 江藤茂

11月12日、新たに保育園で囲碁授業を開催しました。これは囲碁の効用を園側に認めてもらっての体験教室です。来年4月より年長さんを対象に正式にカリキュラムの中に入れるそうです。大変有難いことです。この日は、どんな園児がいるか楽しみでワクワクして授業に臨みました。

まず、囲碁のルールだけ楽しく教え伝えます。

「囲めば取れる」「逃げ道のないところには打てない」「逃げ道のないところでも取れるときは打てる」これを大きな声で復唱させます。「囲碁は石を取ったり取られたりして最後に陣地の多い方が勝ち」も必ず教えます。そして、子ども達の喜ぶ石取りゲームです。男女に分かれて対戦です。楽しければ目を輝かせて嬉々として取り組みます。

教える側もだんだん要領を分かってきました。これからも多くの幼稚園や保育園にて情操教育としても囲碁普及を図っていきたいと思っています。

「小さな碁がたき」

佐土原子ども囲碁教室 渡辺利男



「碁敵は憎さにもくし、なつかしき」という昔からの川柳があります。

同じく碁敵を題材にした「笠碁（かさご）」という有名な落語もあります。

これらは隠居した碁好きのお年寄りのイメージですが、私の教室には5才同士の小さな碁敵が誕生しています。4月に入門した井上芽朗君と、5月に入門した上田健心君は、それぞれ5才の幼稚園児、保育園児です。とてもウマが合うらしく、毎日2人で対戦するのが楽しみで教室に通ってきています。三番手直りの対局ですが、ライバル意識も強く、「ここに打った」「いや打ってない」「石が動いた」「いや動いていない」といったケンカは

日常茶飯事です。でも帰る時にはお互い「又明日打とうね」と笑顔で別れていきます。この熱心さが、20級で出場した10月の第8回交流大会で2人とも4連勝、3勝1敗という結果を出し、ともに19級に進級しました。碁敵（ライバル）を持つことは、大人も子供も上達の近道ようです。



さて、今年もあと1ヵ月余りとなりましたが、生徒達の対局中の会話にも今年の世相が表われているようです。「エエイ、倍返しだ!」とか、「切るなら今でしょ!」「アベノミックスだ!」（まとめて石をとってやるの意らしい・・・）等々、小学高学年が言えばあくる日には低学年の生徒が真似しています。生徒たちが和気あいあいと囲碁を楽しんでいる姿を見ると、とても幸せを感じます。

<左が上田健心くん、右が井上芽朗くん。まわりのみんなも温く見守っています>



日向はまぐり囲碁大会にさんかして

西原小 3年 水谷凌也

みやざき県日向市は、はまぐり碁石の里です。世界のどこをさがしてもはまぐり碁石を作っているのはここだけだそうです。大会で使用されている碁石も、もちろんはまぐりから作られた碁石でした。しあいは、一局目と二局目と三局目はかって、決しょうせんは三しようどうしのたいせんでした。じょばんに大石をとって中ばんにまた大石をとったので、相手がとうりようして、ぼくがゆうしょうになりました。とてもうれしかったです。しょう品のはまぐり碁石は、白くてつるつるしていてとてもきれいでした。



凌也くんも、勇斗くんも
賞品のはまぐり碁石を手
にして
「来年も絶対出る!」

左が優勝の水谷凌也君・右端は4位の水谷勇斗君

日向はまぐり碁石まつりを開催しました

宮崎県日向市産業経済部商工港湾課内

日向はまぐり碁石まつり実行委員会事務局

世界唯一のはまぐり碁石の生産地として有名な宮崎県の北部に位置する日向市では、10月27日に日向はまぐり碁石まつりを開催しました。

今年で25回目を迎えるこの大会には、全国各地から6歳から88歳までの計382名の申込みがあり、熊本県内からも、20名のご参加をいただきました。遠くからたくさんのご参加に深く感謝申し上げます。



さて、趣味の多様化と高齢化とともに囲碁人口の減少が進みつつありますが、若者への囲碁文化の普及と底辺拡大のため、昨年の大会からジュニアの部を設けております。

今回のジュニアの部では、初段以上をAクラスとしてトーナメント戦、1級から10級までのBクラスと、11級以下を初級者クラスをスイス戦とし、計43名の子どもさんが真剣な眼差しで対局を行いました。

大会では、「はまぐり碁石のまち」ならではの、すべての対局に本物のはまぐり碁石と榎碁盤を使用し、お昼は『はまぐり弁当』、各クラスの上位入賞者には、はまぐり碁石と榎碁盤などが賞品として贈られました。



また、プロ棋士3名（片岡聡九段、園田泰隆九段：日向市出身、巻幡多栄子三段）の先生による指導碁や初心者囲碁講座、お楽しみ抽選会なども行い、大いに盛り上がったところであります。

大会事務局では、来年以降も「はまぐり碁石のまち」として、趣向を凝らした大会にしていきたいと考えておりますので、熊本県内からのまたのご参加をお待ちしております。



<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

NPO法人熊本子ども囲碁普及会のホームページアドレスです。大会のお知らせや結果などを載せています。ぜひ、ご覧ください！！



NPO法人熊本子ども囲碁普及会賛助会員のご協力ありがとうございます。

来年度の学童保育囲碁普及事業を当面の目標に活動しています。

法人会員

井筒屋化学産業（株）・日本郵政グループ労働組合九州地方本部・ルンビニー幼稚園・日本棋院託麻囲碁クラブ支部・RKKカルチャーセンター・（株）エム・ティ・エス松本・（有）草野企画・日本棋院玉名支部・重光産業（株）・熊本ファミリーライフサービス（株）・肥銀カード（株）

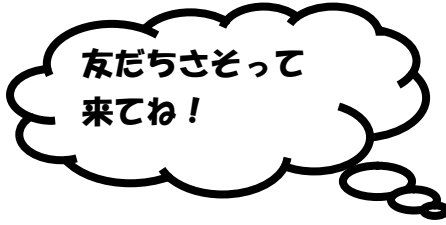
個人会員

江藤和義・後藤斉・栗崎一成・浅野弘尚・高橋邦章・河野延夫・長田幸基・宮崎享・松本晴子・石渕霧子・鎌田聡・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・石川至考・岐部英登・川口雄一・箕田健生・島田万里・隈部敏・木下弘文・野崎照・宮川隆二・倉田千佳子・遠藤倫生・浅枝恭子

（順不同・敬称略）

こども囲碁教室（冬コース）始まります！！

昔から日本人に親しまれてきた囲碁のルールを地元の高段者に学び、囲碁の楽しさを体験することを目的とします。



友だちさそって
来てね！

主催：熊本市子ども文化会館

財団法人 熊本市社会教育振興事業団

日 程： 12月8・22日 1月12・26日 2月9・23日（計6回）

午後1時30分～3時30分

場 所： 熊本市子ども文化会館 熊本市中央区新町1-3-11（096-323-0505）

参加費： 3600円

対 象： 小、中学生

※申し込みは電話または子ども文化会館事務室に直接申し込んで下さい。

各地の教室・・・熊本母と子の囲碁教室（096-370-2263）・託麻囲碁クラブ（096-382-0174）・日本棋院玉名支部教室（0968-74-4968）・一新こども囲碁教室（096-352-7639）・尾ノ上コミュニティセンターこども教室（096-340-8731）・玉名立願寺楽碁長屋子ども教室（0968-73-9008）・RKKカルチャーセンター子ども囲碁講座（096-383-3900）・佐土原子ども教室（096-367-1707）・さくら通り・蓮台寺 親子囲碁交流会（080-3377-0407）・日本棋院人吉球磨支部教室（0966-28-3111）・武蔵ヶ丘コミュニティセンター子ども囲碁教室（096-232-5697）ヒカルの碁スクール「阿蘇」050-3481-7045・城南子ども教室（0964-27-7505）



インフルエンザに
注意!!

編集後記

第8回の交流大会は79名の参加があり、活動が少しずつ広がっているのを感じます。

普及会の在庫の碁盤が足りなくなる勢いで嬉しい悲鳴です。日暮れが早いので送迎が大変かと思いますが、保護者の皆さまの協力をお願い致します。（西山）